

2000年 災害事例

1. はじめに

2000年も様々な災害、事故がおこった。日本の大雨を概観すると(1)梅雨前線の活動は6月はほぼ平年並みであったが、7月は不活発で梅雨前線による大雨は少なかった。(2)2000年に発生した台風は23個で、平年の27.8個と比べて少なかった。1986年以来14年ぶりに日本への上陸した台風はなかった。しかし、9月上旬から中旬にかけて、日本付近に停滞した前線と台風により全国的に大雨となった。特に11日から12日にかけては、東海地方を中心に豪雨となり、河川の氾濫等で甚大な被害(保険金支払見込額1,000億円、史上4番目、自動車保険の支払が大)となった。

地震・噴火災害は、有珠山噴火、三宅島噴火と地震、鳥取県西部地震と発生し、特に鳥取県西部地震では、M7.3、被害が1府9県に及び、負傷者138人、住宅全壊395棟、半壊2,583棟、一部損壊14,938棟と甚大な被害となった。

火災は、消防庁の集計(1月～9月)を見ると、48,676件発生し前年同期と比べ4,934件の増加であった。火災による死者は、1,549人で、前年同期と比べ1人の減、負傷者は6,113人で前年同期と比べ478人の増であった。全火災の出火原因別にみると放火、たばこ、放火の疑い、こんろ、たき火、火あそびの順になっており、全体の52%をしめている。

世界的には、2、3月のモザンビークの洪水(100万人以上が家屋を失い、500万人以上が被害にあった)、8、10月の北インドの洪水(数百万人が被害にあい、経済損失US\$12億)、秋のベトナム・ラオス・カンボジア等の洪水(数十万戸浸水)、スイス・イタリアの南アルプスの土砂崩れ等自然災害史上に残ると思われる巨大災害が発生した。ミュンヘン再保険会社によると巨大自然災害の数は、記録的多さである850件を突破し前年より100件増え、90年代の平均より200件多く、1万人が死亡した(前年は7.5万人)。経済損害はUS\$300億(前年はUS\$1,000億)、保険損害はUS\$75億(前年はUS\$220億)と損害額は前年より少なかった。巨大地震が発生しなかったこととサイクロン・シーズンもそれほどひどくなく、人口高密度地域の損害が少なかったことと相俟って、2000年はあまり巨大自然災害の損害の多くない年であった。巨大自然災害の内、風害が保険損害の73%をしめ、洪水が保険災害の23%をしめると思われる。

ここでは、種々の災害、事故の中から一定の基準に基づき個別の事例を抽出し、2000年の年表として纏めた。個別の災害、事故事例は、新聞報道、雑誌などから、下記の基準(海外は事例が多くなるので基準を大きくした)のいずれかに該当する事例を抽出することを原則とし、この他に2000年の特徴と思われる事例を抽出した。したがって、抽出漏れがあること、その後の事実変化があることを始めにお断りしておく。

抽出基準		国内	海外
すべての事例	死者 負傷者	10名以上 30名以上 (食中毒のみ100名以上)	30名以上 100名以上
気象災害、地震・噴火 火災・爆発事例、 自動車事故	罹災棟数 罹災面積 罹災車両数	10棟以上 1,000平方m以上 10台	10棟以上 1,000平方m以上 10台

2. 2000 年の災害事例

2000 年災害事例は、国内事例と海外事例に分類し、事故種別および発生日順に掲載した。

掲載事故種別は、気象災害、地震・噴火、火災・爆発、傷害、自動車事故、鉄道事故、船舶事故、中毒、その他に区分して掲載した。

国内事例 124 件、海外事例 105 件の合計 229 件を掲載しているが、あくまでも年表として収集したもので、全てではない。

(1) 国内事例

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	2	8	日本	強い寒気の影響により各地で大雪(関東地方の市街地でも所により 20センチ近い降雪)、強風、停電、交通機関のダイヤも乱れ、路面凍結による交通事故も増加。大阪湾でタンカー転覆。
	2	16	日本 日本海側	強い寒気により日本海側中心に大雪。新幹線、空の便に遅れ。東海道線 6 時間、上越線 5 時間半立ち往生し乗客閉じ込められた。高速道路一部不通。
	5	24	千葉県、 茨城県南部	雹(ピンポン玉大)をともなう突風。建物の窓ガラスが割れ、屋根など 2 万 2 千棟被害。自動車の屋根・ボンネット等にも被害多数。農作物にも大被害。負傷者 158 名。
	7	4	東京都内	観測史上 2 番目の大雨により、各地の幹線道路が冠水(港区溜池交差点では 1m ほどの水がたまり、乗用車 20 台エンスト)、地下鉄も一時ストップするなど、混乱に見舞われた。都心ではビルの地下や地下街に水が流れ込む被害が発生した。また落雷による停電(1.8 万世帯が最高 3 時間)や新幹線の運転見合わせも相次ぎ、雨と雷のダブルパンチに、首都は深夜まで対応におわれた。床上浸水 79 棟、床下浸水 55 棟、地下浸水 29 棟。
	7	8	関東、東北	台風 3 号の接近により太平洋側の地域で暴風雨、浸水、停電、交通網に被害。負傷者 8 名、床上浸水 425 棟、床下浸水 1,163 棟。なお、神津島では、土砂崩れのため、住宅 2 棟と神社社務所 1 棟が全壊した。
	7	25	青森、 関東、 東海	梅雨前線の通過で、青森市は 1 時間雨量が観測以降最高の 64mm を記録し、市内を中心に床上浸水 104 棟、床下浸水 127 棟の被害を出し、道路冠水は市内だけで 33 か所を数えた。26 日、大雨となった三宅島では 3 か所で降り積もった火山灰が雨で流され泥流が発生し、村役場では神着地区と坪田地区に避難勧告を出し、167 人が避難。25 日東海地方は激しい雨に見舞われ、岐阜県山間部では 100mm を超え、愛知県山間部で 95mm、三重県でも 50mm を記録した。負傷者 5 名。
	8	6	群馬県 水上町	谷川岳から流れる湯掛曾(ゆびそ)川で鉄砲水があり、川伝いにハイキング中の小学生ら 13 人が突然濁流にのまれた。引率男性 1 名死亡、6 名軽傷。谷川岳一帯では、降りはじめから 4 時間に 40~50mm の降雨。
	8	7	日本	雷雲が東北から九州の広い範囲で発生し、一部で局地的な大雨をもたらした(1 時間雨量は、東京・大手町で 62mm、埼玉県・大滝村と京都府・園部町で 60mm)。落雷により火災や停電が発生し、死者 1 名、負傷者 3 名。
	8	17	鹿児島県、 熊本県、 長崎県	鹿児島県では、局地的な強い雨が降り、多いところで総雨量 400mm を超え、住宅全壊 2 棟、半壊 1 棟、一部損壊 2 棟、床上浸水 5 棟、床下浸水 70 棟の被害。
	8	18	福岡県、 山口県	北九州市の一部や下関市で局地的な大雨に見舞われ、北九州市で床下浸水 17 棟、下関市で床下浸水 47 棟。
	9	8	群馬県	県北部を中心に記録的雷雨のため、河川が増水し、月夜野町、村上町では住宅の浸水や停電の被害が出て、住民、旅館宿泊客が一時的に避難した。土砂崩れのため関越自動車道・国道の通行止め、JR 上越線の不通など県北部で交通が混乱した。床上浸水 17 棟、床下浸水 23 棟。死者 1 名、負傷者 3 名。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	9	11	東海地方	台風 14 号に刺激され秋雨前線が活発化し、愛知県、三重県、岐阜県などの都市部で記録的な豪雨(名古屋市では 24 時間雨量 506mm、1 時間雨量 93mm)。名古屋市内を貫流する庄内川、天白川などは各地で越水氾濫し、なかでも新川は、破堤し名古屋市西区、西枇杷島町、新川町の一部は水没、約 2 万人が孤立した。死者 10 名、負傷者 98 名、住宅被害では、全壊 27 棟、半壊 77 棟、一部損壊 208 棟、床上浸水約 27 千棟、床下浸水約 44 千棟。新幹線約 20 時間ストップ。
地震・噴火	3	27	北海道 有珠山	有珠山は周辺で火山性地震多発し、31 日 23 年ぶりに西側山麓で噴火し、噴煙は上空 3200m まで達した。4 月 1 日には、有珠山北西側にある金比羅山の西側山腹でも新たな噴火活動が始まる。その後、爆発は継続しているが、深部からのマグマの供給は停止しており、頻度、噴煙量は低下している。噴火 3 日前より気象庁は緊急火山情報を出し、噴火前に自主避難・避難指示により 1 万 1 千人が避難し、噴火後に避難指示区域が拡大され避難者は一時 1 万 7 千人に達した。8 月 25 日時点で避難指示の対象者は 378 人。住宅被害は全壊 27 棟、半壊 141 棟、一部破損 82 棟。建物被害の他に農業、水産業、林業、商工業、公共施設等物的被害総額 59 億円。洞爺湖温泉街など周辺観光地の観光業損失は、4 月だけで 16 億 5 千万円。
	6	3	千葉県	震源は千葉県北東部で深さ約 50km、M5.8。震度は、多古町V弱、鹿嶋、神栖、佐原、千葉、東金、旭、成田、市原でIVなど。住宅被害は壁のはく落、カワラ破損等 35 棟。負傷者 1 名。
	6	26	三宅島	①6 月 26 日三宅島で火山性地震が多発し、気象庁が「噴火の恐れがある」との緊急火山情報第 1 号を発表。②7 月 1 日神津島で震度VI弱の地震発生。三宅島、新島、神津島で 30 カ所以上の土砂崩れが発生し、1 名死亡。③7 月 8 日三宅島山頂の雄山で噴火し、噴煙の高さは 800m、噴出物量約 10 万立方m、降灰確認。火口の陥没が始まる。④7 月 26 日三宅島東部で、泥流が発生し、住民約 170 人避難。以降、三宅島を火山灰が覆い、雨の度に泥流発生。30 日三宅島近海で地震、震度 6 弱の揺れ。⑤8 月 10 日山頂で噴火し、噴煙の高さ 3,000m、噴出物量約 10 万立方m。634 人に避難勧告。8 月 18 日噴火し、噴煙の高さ 8,000m、噴出物量 500 万立方m。ほぼ全島に降灰し、ふもとに噴石も飛ぶ。2,162 人に避難勧告。⑥8 月 29 日噴火し、噴煙の高さ 8,000m、火砕流が発生。小中高生 136 人が東京へ避難。8 月 30 日大雨注意報が出たため、全域に避難勧告。9 月 1 日都が全島民の島外への避難決定。9 月 4 日防災関係者を除き、島外避難完了。神津島、新島、式根島、三宅島にて道路損壊、家屋一部破損 120 棟、死者 1 名、負傷者 15 名。
	8	14	福島県 磐梯山	磐梯山で 5 月下旬から増減を繰り返していた火山性地震が 8 月に増加し、8 月 16 日「小規模な噴火の可能性も否定できない」とする初の臨時火山情報が出された。
	9	4	北海道 駒ヶ岳	駒ヶ岳が 2 年ぶりに小噴火し、ふもとで少量の降灰を確認した。けが人などの被害は出ていない。
	9	19	長野県 群馬県 浅間山	浅間山で火山性地震が急増し、軽井沢測候所は 19 日臨時火山情報を発表したが、それ以降減少傾向を示し、10 月に入ってからも、火山性地震は少ない状態。マグマの上昇を示す火山性微動は観測されていない。
	10	6	鳥取県、 島根県、 岡山県、 香川県	鳥取県西部を震源とするM7.3、深さ約 10km の地震。震度は、境港市、日野町VI強。西伯町、溝口町、会見町、岸本町、淀江町、日吉津村VI弱。米子市、岡山・新見市、島根・安来市、香川・土庄町などV強。埋め立て地において液状化が起り、がけ崩れ、道路陥没、水道管破裂、停電などの被害が出た。住宅全壊 395 棟、住宅半壊 2,583 棟、住宅一部破損 14,938 棟、負傷者 138 名。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
地震・噴火	10	7	鹿児島県 桜島・南岳	今年 132 回目の爆発で、高さ 5,000m 以上の噴煙。桜島町で駐車中の車のフロントガラスが割れ、鹿児島市には大量の火山灰が降り注いだ。
火災・爆発	2	1	栃木県 田沼町	多高山の国有林付近で森林火災が発生し 18 時間後に鎮火、18.2ha を焼いた。
	2	3	神奈川県 箱根町	宮ノ下のホテルの 4 階にある塔屋付近から出火、同塔屋の内部 5.3 平方 m を焼いた。塔屋は 1930 年に建てられ、かつては展望台として使われていたが、今は立入禁止になっている。同ホテルの建物は、国に登録された有形文化財。
	2	6	埼玉県 浦和市	古着回収販売業の工場兼倉庫から出火、木造平屋建て約 1,155 平方 m 全焼、隣接する民家 2 棟半焼。
	2	16	東京都 千代田区	J R の高架下にある運送会社の鉄筋コンクリート建て倉庫から出火、約 600 平方 m 全焼。J R 山手線と京浜東北線がストップし大学入試に影響。
	2	17	埼玉県 小鹿野町	埼玉県と群馬県にまたがる父不見山（ててみずやま）の山頂付近から出火、杉や檜の山林約 35.9ha を焼いた。負傷者 1 名。
	2	18	香川県 富浜町	魚見山のふもとのミカン畑から出火し、町有林など約 88.5ha を焼いた。住宅への被害やけが人はなかったが、高松自動車道の一部が通行止めになった。
	2	28	埼玉県 小鹿野町	埼玉、群馬県境にまたがる父不見山（ててみずやま）で発生した山林火災は、発生から約 52 時間ぶりに鎮火したが、杉林など 19.6ha を焼いた。
	2	29	愛知県 豊橋市	病院本館北側の木造倉庫から出火、木造本館と第一病棟の 2 棟計約 2,000 平方 m を焼く。重傷患者 6 人を含む 19 人避難。
	3	10	兵庫県 尼崎市	新三和商店街の振興組合事務所付近から出火、事務所をはじめ洋服店や飲食店など計 10 棟延べ約 1,000 平方 m 全焼。死者 2 名。
	3	12	青森県 金木町	温泉旅館から出火し、木造平屋建ての温泉棟と宴会棟の計 2 棟 1,400 平方 m を全焼した。
	3	20	愛知県 瀬戸市	強風波浪注意報下、倉庫付近から出火し、強風にあおられ燃え広がり商店、家屋など 7 棟 1,510 平方 m 全焼。負傷者 1 名。
	3	25	山形県 米沢市	白布温泉の旅館本館から出火。木造 2 階建約 1,400 平方 m を焼き、北東隣の旅館の本館にも延焼し約 2,980 平方 m 全焼。合計約 4,400 平方 m 全焼。2 軒の旅館は、いずれも江戸時代から残るかやぶき屋根の建物で火の周りが早かった。
	4	1	福岡県 福岡市	通称「錦小路」と呼ばれる繁華街の木造 2 階建て（一部地下 1 階、一部 3 階）店舗延べ約 468 平方 m と木造 2 階建店舗延べ約 60 平方 m の 2 棟 9 店舗を全焼し、付近の立体駐車場などの外壁も焼いた。
	4	24	茨城県 古河市	製綿業の工場に落雷。木造平屋の製綿工場や布団打ち直し工場など計 4 棟約 1,500 平方 m 全焼。
	5	9	京都府 京都市	寂光院本堂から出火、木造こけら葺きの本堂約 82 平方 m 全焼。重要文化財「六萬躰地藏菩薩像」などを焼失。本堂周辺に配置されている放水銃 3 基が作動したが、火勢が強く約 1 時間後に鎮火した。
	5	11	福島県 白河市	催し物会場から出火し、付近のアパートや民家、倉庫の計 10 棟 770 平方 m 全半焼。死者 1 名。
5	20	京都府 美山町	国の重要伝統的建造物群保全地区「かやぶきの里」の美山民俗資料館納屋付近から出火し、母屋と納屋、トイレなど計約 130 平方 m 焼失。	
6	10	群馬県 新田郡	化学薬品会社工場のヒドロキシルアミン蒸留塔が爆発・炎上。蒸留塔は跡形もなく吹き飛び、爆風により半径 300m で 238 棟被害。一部停電や電話不通。死者 4 名、負傷者 28 名。	
6	11	栃木県 宇都宮市	繁華街のビル 1 階宝石店から出火し、鉄筋 3 階建ての 1 階店舗部分 109 平方 m 損失。放火により女性従業員 6 名焼死、負傷者 1 名。	
6	18	福岡県 直方市	商店街内のがん具店付近から出火、7 棟約 1,500 平方 m を焼く。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	7	12	山形県 大江町	食品メーカーの大江工場の冷凍めん製造棟から出火、木造一部鉄骨造り2階建て同棟約2,140平方mを全焼し、約3時間後に鎮火した。けが人はなく、敷地内にある別棟への延焼はなかった。火が釜の油に引火し、炎がダクトを伝わり天井裏に燃え広がった。
	7	31	千葉県 千葉市	集合住宅から出火し、強風で集合住宅11棟の他、隣接する民家1棟と社員寮1棟の計13棟全焼。負傷者3名。
	8	1	愛知県 武豊町	火薬製造会社・愛知事業所内の鉄骨平屋建ての火薬類一時置き場で爆発。半径2kmで爆風により民家の窓ガラスが割れるなど806棟が被災し、負傷者61名。
	8	13	岐阜県 可児市	河川敷で行われた花火大会で、打ち上げ花火が地上付近で爆発し、見物人らに火の粉が降りかかる。見物客45人が軽いやけど。
	8	19	茨城県 千代川村	発泡ポリエチレン加工場から出火、鉄筋2階建て工場約1,770平方mと隣接の鉄筋平屋事務所135平方mを全焼。
	8	21	島根県 加茂町	化粧品メーカー出雲工場で鉄骨3階建て3,900平方mの内、原料などを置いた倉庫部分など約900平方mを焼く。
	8	24	福島県 河東町	国指定重要文化財「八葉寺(はちようじ)阿弥陀堂」から出火、かやぶき屋根約160平方m焼く。境内で遊んでいた子供たちのロケット花火の火が原因。
	9	1	宮城県 仙台市	大学の学生寮物置付近から出火、寮に延焼し、木造2階建て約1,340平方mを全焼した。
	9	3	東京都 多摩市	中華料理店の液化石油ガス供給施設から出火し、2階建て店舗併用住宅(延面積260平方m)が半焼し、隣接する駐車場の乗用車36台が損失した。この火災で50kg液化石油ガスボンベ3本が飛び、内1本は100m飛んでアパートの屋根でバウンドして、近くの空き地に落下した。1名軽いけが。
	9	14	三重県 嬉野町	食用コーンオイル製造工場の油かす貯蔵庫内の鉄製容器溶接中、爆発し出火した。1,270平方m半焼。負傷者3名。
	10	2	茨城県 牛久市	自動車解体会社の廃棄解体車両置き場から出火、小爆発。敷地内に野積み廃車車両5,000台、古タイヤ15,000本の大半焼損。
	11	7	兵庫県 神戸市	木材販売会社から出火、木造平屋建ての倉庫兼事務所約150平方m全焼。隣接3階建てマンションに燃え移り、4部屋計約160平方mを焼く。北側の運送会社の鉄骨3階建て倉庫と木造2階建て事務所も全焼するなど計7棟、約1,400平方mを焼いた。負傷者1名。
	11	12	東京都 日野市	自動車メーカーの組立工場から出火、鉄骨スレート3階建ての一階、中二階約2,500平方m焼く。同工場は、この日は休業日でメンテナンス中。負傷者3名。
	11	14	北海道 札幌市	市民生協の店舗から出火、鉄筋3階建て延べ約2,580平方m全焼。
	11	16	神奈川県 箱根町	旅館から出火し、鉄筋コンクリート一部木造の5階建て2,300平方mを全焼した。宿泊客ら5名負傷。
	11	28	東京都 足立区	木造民家から出火し、隣接する住宅2棟を全焼し、小学校の校舎外壁やアパートの一部が焼けるなど計12棟約340平方m焼損。
	11	28	静岡県 伊東市	プロパンガス販売会社でガス漏れがあり爆発・炎上し、木造2階建て事務所約100平方m全壊。隣接する木造2階建アパートと民家が半壊したほか計18棟爆風被害。負傷者8名。
	12	2	富山県 氷見市	養鶏業の鉄骨トタン張り平屋建て鶏舎から出火、約1,800平方mを全焼。鶏約8万羽焼死。
12	8	栃木県 塩原町	養豚業の鉄骨平屋建て豚舎から出火、11棟のうち6棟約2,329平方mを全焼。豚約千頭焼死。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	12	24	新潟県 山北町	森林組合の木造平屋建て木工芸工場から出火、海からの強風にあおられ同組合の製材工場など計5棟合わせて約2,400平方m全焼。敷地内の野積の材木なども焼失した。被害額は、1億8千万円。
	12	25	愛知県 名古屋市	繊維問屋街の繊維卸店舗から出火し、木造2階建て約470平方m全焼。強風にあおられ南隣の一部木造の4階建てビルに延焼1,030平方mが全焼。東隣の鉄筋6階建てビルの壁が一部焦げた。軽傷2名。
傷害	8	18	静岡県 天竜市	勇壮さで知られる諏訪神社例祭「二俣まつり」に参加していた山車（高さ4m）が横転し、27人重軽傷。
	10	4	東京都 八王子市	小学校図工室で蛍光灯の安定器（コンデンサー）が破裂、中の有害物質PCB油が授業中の小学生の頭上に降り注ぐ。健康に異常はない。
自動車事故	1	23	兵庫県 宝塚市	中国道上り線宝塚東トンネル出口付近で、自動車や大型トレーラーが絡む事故発生。その直後後方トンネル内で十数台の車が次々に追突。合計自動車18台の衝突事故。負傷者7名。
	2	15	北海道 札幌市	札幌自動車道新川インター付近の下り線の5カ所で30台を巻き込む多重衝突事故。吹雪で路面が凍結していた。負傷者11名。
	2	26	北海道 弟子屈町	摩周湖近くで地吹雪の中、観光バス3台と除雪車2台が相次いで衝突した。死者1名、負傷者106名。
	2	29	宮城県 村田町	東北自動車道下り線の村田インターチェンジ付近で吹雪で視界の悪いなか、ワゴン車のスリップをきっかけに大型トラックや乗用車など19台が追突した。死者1名、負傷者5名。
	3	4	広島県 福山市	山陽道上り線郷分トンネル内3カ所で大型バスや乗用車など25台が相次いで衝突し2台炎上した。5日昼に通行止め解除となる。死者1名、負傷者27名。
	6	4	北海道 静内町	国道235号でRV車が対向車線にはみ出し、ツアー観光バスと正面衝突。RV車大破、バスは排水路に転落。死者1名、負傷者42名。
	9	8	静岡県 由比町	東名高速下り線の近接する4カ所で大型トラックや乗用車など車両18台が関連する多重追突事故が発生し、1名死亡、4名重軽傷。降り始めの雨で路面が滑りやすくなっていたこともあり、連鎖的な事故が起こったと見られている。
	9	8	広島県 広島市	国道2号で社会見学からの帰りの小学3年生らを乗せた大型観光バスと対向の普通タンク車が正面衝突し、バス前部大破。負傷者47名。
	10	3	北海道 壮瞥町	洞爺湖畔の道道交差点で、観光客を乗せた観光バスと大型ダンプカーが衝突、バス乗客ら43名重軽傷。
	10	5	大阪府 高石市	阪神高速4号湾岸線で観光バス3台の追突事故。負傷者44名。
	10	8	北海道 洞爺村	国道230号で観光バス（54人乗り）がセンターオーバーの乗用車と衝突して、路外に飛び出し横転。負傷者42名。
	10	9	群馬県 桐生市	国道50号線交差点で信号待ちで停車していた乗用車にトラックが追突し、乗用車が前に押し出されホテル送迎バスに追突。負傷者39名。
	10	23	東京都 江戸川区	首都高速7号線下り線で、ライトバンが側壁に衝突し、後続の乗用車やトラックなど計10台が玉突き追突。トラック荷台から大豆約1.5トン散乱。負傷者3名。
	11	16	岐阜県 各務原市	東海北陸自動車道下り線の各務原トンネル入り口付近で乗用車と観光バス2台の絡む玉突き事故。先頭の乗用車が落下物を避けようと急停止したため。負傷者53名。
	12	8	奈良県 天理市	国道25号（名阪国道）名古屋行き車線で、減速した乗用車にダンプカーが追突、後続の乗用車など計13台が衝突。死者1名、負傷者9名。
12	12	宮城県 三本木町	東北道上り線で大型トラックが積雪のためスリップし横向きになり、後続トラックや乗用車、高速バスなど64台の多重衝突事故。負傷者21名。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
自動車事故	12	13	北海道 美唄市	道央自動車道下り線で、約 900mにわたり数カ所で計 77 台多重衝突事故。アイスバーン状態、速度規制中。負傷者 26 名。
鉄道事故	3	8	東京都 目黒区	地下鉄日比谷線中目黒駅から約 100mの地点で下り電車最後尾の車両が脱線、反対側通過の上り電車に衝突。上り電車 6 両目が大破。死者 5 名、負傷者 37 名。
	12	17	福井県 松岡町	京福電鉄で、永平寺線の電車がブレーキ故障で越前線に進入、約 1km オーバーランして下り電車と正面衝突。死者 1 名、負傷者 25 名。
船舶事故	5	27	奄美大島沖	奄美大島西方の東シナ海で、タンカー（26,450 トン）が避難信号を発生し、炎上した。乗組員 34 人は全員救助された。船首から 30mにわたり甲板がめくれ上がり、船腹の一部が焼け落ちた。同船はタグボートに曳航され、上海にむかった。
	9	11	北海道 浦河沖	太平洋で沖合底引き網漁船（18 人乗り）が操業中に転覆、沈没。4 人救助されたが 14 人行方不明。普段の倍近い約 50 t の魚を引き揚げ傾く。
	9	29	福岡県 福岡市沖	玄界島の西 8km の玄界灘で、貨物船 497 t が砕石 1,500 t を運搬中、浅瀬に乗り上げ・沈没した。船から流失した油（長さ 1km、幅 50m）を巡視船が吸水マットなどで回収した。
	10	26	三重県 大王町沖	熊野灘で大型貨物船（20 人乗り）とケミカルタンカー（6 人乗り）が衝突。貨物船から燃料油約 9,000 リットル流出。
	12	24	和歌山県 日置川町沖	紀伊水道で、電化製品や金属のスクラップ約 920 トンを積んで航行中のカンボジア船籍貨物船から出火し、3 日経っても鎮火せず。乗組員は全員巡視船に移り無事。
中毒	1	14	新潟県、 長野県	両県のホテルなどで、岡山産の生ガキが原因の食中毒が発生し、計 43 グループ 124 人が、おう吐や発熱などの症状を訴えた。新潟県の生ガキからは小型球形ウイルス（SRSV）が検出された。岡山県は、カキを加工した岡山県漁連に大阪や東京など 13 都道府県に出荷した約 10 トンの回収命令を出した。
	2	26	兵庫県 尼 崎市・伊丹 市・西宮市	メーカーなど 11 事業所で、仕出し弁当を食べた 116 人が、腹痛や下痢などの症状を訴える。尼崎市は、食中毒と断定し、弁当を作った弁当製造者を 5 日間の営業停止処分とした。
	3	6	兵庫県 姫路市	小学校の児童ら計 101 人が、下痢やおう吐などの症状を訴える。同市は、学校給食が原因の食中毒と断定し、同校の調理室を 4 日間の業務停止処分にした。
	3	15	愛媛県 松山市	中学校の生徒 100 人が、吐き気や下痢の症状を訴え、欠席した。市は、小型球形ウイルス（SRSV）による感染性胃腸炎が原因と断定した。市は、幼稚園、小中学校に食事前の手洗いを指導した。
	3	17	滋賀県 愛知川町	小学校の児童ら 154 人が、おう吐や腹痛などの症状を訴えた。県は、小型球形ウイルス（SRSV）を検出し、これが原因の感染性胃腸炎と断定した。また、学校に対し、トイレや手洗い場の清掃、消毒などの衛生指導を行った。
	5	8	茨城県 鹿嶋市	総合病院で、入院患者や病院職員 101 人が、下痢や発熱などの症状を訴え、患者 1 人が死亡した。県は、食中毒と断定し、同病院から委託されて食事を作っている給食調理会社に、3 日間、院内での営業停止処分にした。
	5	25	東京都 豊島区	2 つの高校で、調理パンを食べた生徒、教員計 229 人が、下痢や腹痛などの食中毒症状を訴える。都は、同じ食品業者が製造したパンが食中毒の原因と断定し、営業停止処分とした。
	6	16	神奈川県 藤野町	介護老人保健施設と隣接する温泉病院で、老人と職員ら計 56 人が病原性大腸菌 O157 に集団感染した。県は、施設と病院を立入検査し感染源を調査している。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
中毒	6	27	近畿	乳業会社の大阪工場で製造された低脂肪乳で黄色ブドウ球菌の毒素により、おう吐や下痢、腹痛などの症状を訴えた人約1万4千人。約29万8千本を回収し、全国21の牛乳工場で市乳品生産を停止した。
	7	4	福岡県古賀市	私立幼稚園で、園児、職員計192人が、下痢や発熱、腹痛などの食中毒症状を訴えた。同市は、サルモネラ菌による食中毒と断定し、同市の弁当店は自主休業し、店内を消毒した。
	7	12	兵庫県、大阪府、奈良県	乳業会社近畿工場で製造された学校給食用牛乳で生徒が異臭、吐き気、腹痛を訴え、一部の生徒が病院で手当を受けた。22万2千本回収する。西宮市保健所は、同工場の立ち入り検査を実施し、商品ケースの洗浄用塩素水が残り、瓶やフード付近に付着していたのが原因と断定した。
	7	25	愛知県名古屋市	特別養護老人ホームで入居者や職員ら計33名が、病原性大腸菌O157に集団感染し、このうち8名が入院している。同市が検便を行ったところO157を検出した。
	8	7	奈良県天理市	陸上競技部の合同合宿をしていた兵庫県の公立高校13校の生徒や教諭ら101人が、付近の弁当店の弁当を食べ、下痢や腹痛などの食中毒症状を訴える。保健所は、同弁当店を4日間の営業停止処分にした。
	8	30	東京都豊島区	仕出し業者の作った弁当を食べた155人が、腹痛、下痢などの症状を訴え、都は食中毒と断定した。症状はいずれも軽症。
	8	31	愛知県小牧市	航空自衛隊基地で、隊員110名が、下痢や腹痛、発熱などの症状を訴えた。同県では食堂を原因施設と断定し、業務禁止処分とした。
	9	23	神奈川県横浜市	宗教団体の施設で食事をした職員106人が、下痢や発熱などの食中毒症状を訴え病院で手当を受け、14人が入院した。保健所は、職員食堂の食事が原因と断定し、食堂施設の使用を禁止した。
	10	19	東京都中央区	デパートの社員食堂でイワシの蒲焼きを食べた従業員98名が、じんましんや吐き気などのアレルギー症状を起こした。
	その他	1	24	日本
1		26	日本	日本メーカーのデスクトップ型パソコンの一部に不具合、異臭や発煙の可能性がある。約8万6千台無償修理。
2		10	鹿児島県内之浦町	文部省宇宙科学研究所は、エックス線天文衛星「アストロE」を載せたM(ミュー)5ロケット4号機の打ち上げの際、一段目ロケットの不調で予定軌道への投入失敗。約190億円の損失。
2		29	日本	気象庁の「地域気象観測システム」(アメダス)や郵便貯金の現金自動預払機(ATM)網などに2000年「うるう日」によるトラブルが発生。
2		29	日本	電機メーカーが製造、販売のリチウムイオン二次電池パック製品に、充電時に熱損傷が起きる可能性があるため、約59,000パックを回収する。
3		1	日本全国	この冬のインフルエンザに関連した死亡者として、2月24日までに厚生省に報告されたのは、全国で152人。年代別にみると、60歳以上が4分3を占めている。
4		1	日本	携帯電話のiモード機能が全国で使えなくなり、復旧に6時間を要した。
5		3	佐賀県	3日午後1時頃、佐賀発福岡行き高速バス(乗客約20人)が、九州自動車道太宰府IC付近を走行中にバスジャックされ、中国自動車道を経由して山陽自動車に入り、乗客1名がのどなどを切られ死亡。4日早朝広島市小谷SAで、警官が強行突入、犯人の17歳の少年を逮捕し、人質10名は約15時間半ぶりに救出された。乗客5名死傷。
6		20	埼玉県	県生活衛生課は、同県内の2つの食品工場が製造したハムなど3種類から病原性大腸菌O157が検出され、メーカーに商品の回収を命じた。同製品は、計3,100個製造され、関東、東北地方で主に販売された。
7	4	日本	乳業会社の平泉工場で製造した乳飲料に風味異常があるなどの苦情により計26万本自主回収した。岩手県保健福祉部は細菌数規格に適合しており、問題なしと発表した。死者、負傷者なし。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
その他	7	14	近畿地方	パン製造会社・大阪工場製のパンにカビが付いていたとして、約4千個回収した。食中毒症状などの被害は出ていない。保健所は、工場立ち入り検査したが、製造設備や工程でカビの繁殖が疑われるなどの異常はないことから、パンの焼き上げ温度、時間の管理を強化するよう指導した。
	7	15	日本	清涼飲料水製造会社の湘南工場製造のスポーツドリンクで香味異常や腹痛などの体調不良訴える消費者が出たため、136万本自主回収した。雑菌や毒物は、検出されなかった。10名が腹痛等を訴えた。
	7	17	東京、千葉、神奈川、大阪など6都府県	パン製造会社の工場で作成したカップ入りデザートに「酸っぱい」等の苦情があり、約70万個を回収した。健康被害の訴えはない。県は立入検査し、製造工程で内ぶたの接触不良により雑菌が混入した可能性が高いとして調査したが、サルモネラ菌、黄色ブドウ球菌など食中毒菌は検出されなかった。
	7	18	日本	自動車メーカーの車14車種に欠陥、更に運輸省に届けないままリコール（回収・修理）を行った「リコール隠し」が判明した。運輸省は同省の定期検査で虚偽の報告をしたのは道路運送車両法違反にあたるとして、警視庁に刑事告発した。
	7	21	日本	食品メーカーのレトルト食品のトッピング用小袋の中に乾燥剤の「シリカゲル」が混入、2万2千個を回収した。原因は、委託生産している食品会社の従業員が作業マニュアルを無視した手順で作業したためと判明した。
	9	11	日本	電機メーカーが発売の大画面テレビの電子回路が異常に過熱し、最悪の場合発火した欠陥があったと公表した。同社はこれまで公表や製品の自主回収を行わなかったが、2機種約4万5千台の部品を交換・改修すると発表した。
	10	20	日本	電機メーカーの太陽光発電システムの受注が急増し生産が追いつかず、故意に出力不足の太陽電池パネルをまぜ販売。メーカーは、販売済みシステムを無償交換すると発表。
	10	27	日本	電機メーカーの大型冷凍冷蔵庫で、扉を繰り返し勢いよく開けると取り付け部のストッパーが破損し扉が落下する不具合。事故は139件発生し計12人負傷。198,340台の部品を無償交換すると発表。
	11	25	日本	電話会社の携帯電話インターネット接続サービスとデータ通信サービスで、関東と中部地域を除く全国の約214万台に、電子メールなどを送れない状態が2日連続して断続的に発生した。
	12	4	日本	電機メーカーが、1988年～96年にかけて製造した冷房専用窓用縦型エアコンに発火の可能性があるとし、約23万台リコール。北海道と東京都内で発火事故。

(2) 海外事例

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	1	1	インドの東部、バングラデシュ	寒波により多数の凍死者が出たほか、濃霧が発生し航空、鉄道網混乱。死者143名。
	1	24	米国、中・東欧諸国	強い寒波による大雪や路面の凍結のために交通事故などの犠牲者相次ぐ。また電線が氷の重みで切れ停電事故相次ぐ。死者280名。
	2	8	モザンビーク、南アフリカ、ボツワナ、スワジランド、マダガスカル	サイクロン等で観測史上最大の集中豪雨が続き川の氾濫で浸水。モザンビークでは、リンボポ川が氾濫し、100万人以上が家屋を失い、発生から1か月近くたっても樹木や家の屋根などにつかまったまま、ヘリコプターなどによる空からの救援を待つ人への救援作業が続く。死者412名。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
気象災害	2	14	米国南東部	ジョージア州で少なくとも 5 つの竜巻発生し、住宅多数を破壊、死者 22 名、負傷者 100 名。最も被害が大きかったカミーラでは、8km に渡り道路が寸断され、約 60 戸が倒壊。アトランタ、アラバマ、フロリダ、アーカンソー、ミシシッピ、テネシーの各州でも家屋損壊や停電などの被害が出た。
	2	22	オーストラリア	モンスーン豪雨による広範囲の大洪水によりクィーンズランド州では面積の 3 分の 1 が水没した。救援に手が回らず羊 4,000 頭が川に流される。
	3	13	モンゴル	厳しい寒波や 30 年ぶりの大雪、1999 年夏の干ばつ以来、牧草が大幅に減り羊や牛など 200 万頭以上の家畜が凍死しており、遊牧民を中心に飢饉が発生。45 万 2 千人（人口の 17%）の遊牧・牧畜民が被災。
	3	28	米国 テキサス州	竜巻が市街地の高層ビルの窓ガラスを破壊したほか、住宅にも大きな被害をもたらした。死者 3 名、負傷者 48 名。
	5	1	インド 南西部	ラジャスタン州、グジャラート州、アンドラプラデシュ州を中心に深刻な干ばつ。5,000 万人以上被災し、飼料不足で乳牛 37 万頭被害。死者 2 名。
	5	19	インドネシア 西ティモール	豪雨のためブナイン川あふれ洪水。死者 148 名。
	5	27	中国 北部 から中・南部	北部から中・南部にかけ広い地域で極端な少雨のため干ばつ被害が広がっており、全国耕地面積約 13% が影響受け深刻な事態。水不足、食糧不足になっている。また、作物を食べ尽くす害虫のバッタが一部地域で異常発生し農業被害に拍車をかけている。
	6	17	中国 福建省	沿岸部を中心に雨が降り続き各地で鉄道が寸断、がけ崩れも相次ぎ住宅が土砂に埋まる。直接の経済的被害約 190 億円。死者 34 名、負傷者 10 名。
	7	6	南東欧州	イタリア、ギリシャからルーマニアにかけての南東欧州一帯が、サハラ砂漠から地中海を渡って北上した熱波に覆われ、軒並み 40℃ 以上の高温を記録、少なくとも 8 人の死亡が確認されている。最高気温は、マケドニア・スコピエの 44℃、ユーゴスラビア・ベオグラードで 114 年ぶりの記録となる 43.5℃、ギリシャ・アテネで 43℃、イタリア南部で 40℃、ブルガリア・ソフィアで 112 年ぶりの 39.9℃ などである。各地で森林火災も多発した。
	7	10	フィリピン ケソン市	ごみ処分場で台風の風雨でゆるんだごみ山が崩れ、「ごみの拾い屋」たちのバラック約 200 戸が全半壊し、住民ら多数生き埋めになる。救助隊の作業中発火し、火事による犠牲者も出た。死者 226 名、負傷者 166 名。
	7	11	中国 陝西省	山間部一帯で 11 日から 14 日にかけて、集中豪雨による洪水が発生し、地滑りや土石流などで 213 人が死亡、家屋 4,000 棟が倒壊した。
	7	12	インド ムンバイ	一週間のモンスーンによる豪雨で大規模な地滑りがスラム街で起き、土やトタン造りの家屋 200 棟が土砂に飲み込まれ、少なくとも 50 人が死亡、30 人以上が負傷した。さらに数十人が行方不明。
	7	13	中国 江蘇省	揚州市、泰州市で竜巻が発生し、家屋倒壊、送電線や電話線の断線、農作物の被害が発生した。被害額は 400 万人民币元（約 5,200 万円）に上る。死者 20 名、負傷者 500 名。
	7	14	カナダ アルバータ州	湖畔のキャンプ場を竜巻が襲い行楽客ら 11 人死亡、負傷者も 200 人に達した。当時、キャンプ場にはキャンピングカー数百台があり、キャンプ客は車に逃げ込むなどしたが、竜巻で車ごと巻き上げられ、湖に沈んだ車もあった。
	7	20	米国 南部 から中西部	熱波が居座り、38℃ 以上の気温が連日続き、テキサス州で 12 人、ルイジアナ州で 7 人が暑さのため死亡した。ヒューストン市ではエアコンを備えた「避暑センター」を 13 カ所開設した。
7	22	韓国 中南部	集中豪雨に見舞われ、全国で死者 10 人、行方不明者 5 人が出ているほか、道路冠水や農地の浸水が各地で相次ぎ、被害額は 332 億ウォン（約 33 億円）にも上る。22 日～24 日の降雨量は、ソウル近郊の竜仁で最高の 393mm を記録した。	

事故種別	発生日		場 所	概 要	
	月	日			
気象災害	8	1	インド、ブータン	モンスーンによる豪雨で洪水や地滑りが続き、インドでは250人死亡、ブータンでは13人死亡。数百万人に被害。	
	8	1	ブラジル	北東部のアラゴアス州とペルナンブコ州の太平洋側では、5日連続の豪雨により、各地で洪水、山崩れが発生している。47人死亡し、10万人が避難生活。	
	9	1	韓国、北朝鮮	台風12号により韓国では、死者・行方不明24名。停泊中の船舶121隻が沈没・座礁し、住宅55棟が倒壊、農地129haが浸水した。北朝鮮のハムギョン南道では、堤防が決壊し、42人が死亡した他、各地でトウモロコシが強風でなぎたおされたり、水田が冠水するなど農作物にも大きな被害がでた。	
	9	2	インド ウッタール プラデシュ州	大雨による洪水で、6月以降、267名が死亡。	
	9	6	メコン川流域	熱帯低気圧などの影響による集中豪雨で、タイ、ベトナム、カンボジアなどが水害に見舞われ、タイではメコン川など河川氾濫で1万3千世帯が浸水。ベトナムではメコン川の水位が過去40年間で最高のレベルまで上がっている。死者170人、250万人避難。	
	10	3	ベトナム	8月から続く豪雨に伴う洪水による地すべりで、住民397人の村全体が埋まる。死者40名、負傷者17名。	
	10	14	スイス、イタリア、フランス	南アルプスで2日間で600mmの豪雨により、イタリアのポー川、コモ湖が氾濫。スイス側の土砂崩れでレストランや集会所が土砂にのみ込まれる。死者・行方不明70名。	
	11	1	台湾	台風20号が直撃し北部を中心に洪水・土砂崩れ。老人ホーム地下室に水が流れ込み老人溺死。154万戸停電、1万戸以上断水。死者53名、行方不明10名、負傷者5名。	
	11	21	インドネシア スマトラ島	局地的な豪雨により、洪水や地滑りが相次ぎ、道路網が寸断。死者・行方不明者207名。	
	12	16	米国 アラバマ州	タスカルーサ郊外、フロリダ州との州境に近いジェニーバや州北部地域で竜巻発生。550棟以上の住家被害。タスカルーサの竜巻軌跡の最大幅は、228m、長さ29km。死者10名、負傷者31名。	
	地震・噴火	1	15	中国 雲南省	M5.9、M6.5の地震2回。1万8千世帯、9万人が家を失う。損害家屋は84万棟を超える。死者4名、負傷者2,500名。
		2	24	フィリピン ルソン島	マヨン火山(2,421m)噴火。山頂から溶岩が流出し周辺には火山灰が降り注ぎ農作物に被害。火砕流で斜面にいた多数の牛が死亡。レガスピの空港が閉鎖し、住民8万人避難。
5		4	インドネシア スラウェシ州	スラウェシ島の近海でM6.5の地震が発生。津波が発生し同州沿岸部、ペレン島などを襲い家屋1万棟が倒壊した。死者26名、負傷者150名。	
6		4	インドネシア スマトラ島	震源はベンクル沖の深さ約33km、M7.9の地震。インド洋沿岸部を中心に大被害。住宅数百戸倒壊。直後M6.7など余震続く。死者103名、負傷者520名。	
6		6	トルコ	震源はトルコ中北部のチェルケシュ付近で、北アナトリア断層で起きたM5.9の地震。震源地周辺で家屋多数倒壊。M4.9など9回以上の余震あり。死者3名、負傷者91名。	
7		12	インドネシア ジャワ島西部	ジャカルタの70マイル南を震源とするM5.1の地震。震源に近い西ジャワ州スカブミで民家257棟が全壊、348棟が半壊の被害を受けた。裁判所や県庁舎も被害があった。負傷者64名。	
8		5	ロシア サハリン	サハリン中部でM6.7の地震。住宅1,340棟が損壊し、工場10棟、文化施設2棟にも被害がでた。被災地では、道路や鉄道が寸断されている。16人が負傷。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
地震・噴火	11	25	アゼルバイジャン	東部でM6.3地震。倒れた壁の下敷きや心臓発作により死者31名、負傷者130名以上。また、ガス管からのガス漏れでアパート爆発し、一部が吹き飛ばされ、死者1名、負傷者1名。
火災・爆発	3	11	ウクライナルガンスク州	炭鉱の地下664mの採炭現場でメタンガス爆発。事故当時約280人が採炭作業を行っていた。死者80名、負傷者7名。
	3	22	ナイジェリア アビア州	住民らが石油パイプラインを破壊し、バケツで石油を盗んでいたところ火災発生。少なくとも50人焼死。
	3	29	中国 河南省	ビデオ映画館から出火、隣の映画館にも燃え移って2軒全焼。防火設備の不備で被害拡大。死者74名、負傷者1名。
	4	6	パキスタン シンド	閉鎖油田で火災発生。1日あたり石油500バレルと天然ガス150万立方m燃え続ける。海外の専門家らによる消火活動が進められている。
	4	6	韓国 江原道	山林が燃え続き、強風にあおられ日本海側の原子力発電所や弾薬庫まで火が迫ったが食い止めた。23,300ha焼失。死者2名、負傷者15名。
	4	14	コンゴ キンシャサ	国際空港内の倉庫で漏電による火災が発生し、火は弾薬を満載の輸送機に燃え移り、2時間以上にわたって連続爆発が起きた。死者101名、負傷者216名。
	4	15	中国 山西省	古県の炭鉱で爆発が起き、死者・行方不明43名。
	5	4	米国 ニューメキシコ州	森林火災で7,000haを焼く。住宅約400戸が焼失、住民2万5千人避難。原子力関連研究施設ロスアラモス国立研究所の一部焼失。
	5	9	米国 ケンタッキー州	バーボンウイスキー蒸留所が全焼。バーボンウイスキー約535万本分が焼失。川に流れ込んだため下流の浄水場閉鎖。
	5	13	オランダ エンスヘデ市	花火倉庫(約100トン保管)が大爆発、火災となった。竜巻状の巨大な炎のかたまりが周囲の住宅地を襲い、飛散したコンクリートやガラスの破片は数キロにわたって飛び散り人々を直撃。倉庫周辺520平方mが完全に破壊され、民家400戸が全半壊。火災は住宅街に広がり数ブロック焼失。夜通し小爆発。事故による損害は、\$427百万。死者18名、負傷者964名。
	5	19	ロシア サンクトペテルブルク	軍施設の弾薬貯蔵基地で火災発生、爆発を伴いながら拡大。弾薬筒の破片などが半径2km以上に飛散。
	6	12	米国 コロラド州	パーク郡、ラリマー郡の2か所で大規模な山火事が発生、8,400haと民家57棟などを焼失。
	6	27	米国 ワシントン州	山火事が発生し、ハンフォード核保留地近くまで延焼。7万haが燃え、7,000人が避難した。エネルギー省は、原子力施設内の核物質への影響はないと発表した。しかし、周辺の土壌に蓄積された可能性がある放射性物質が散らばる恐れも指摘されている。負傷者3名。
	6	30	中国 広東州	郊外の工業地区で花火工場が爆発し、約3,000平方mの2階建て工場が吹き飛ばす。死者30名、負傷者200名。
	7	10	ナイジェリア ワリ近郊	住民がパイプラインに穴を開け、ガソリンをバケツなどでくみ取っているうちに大爆発が発生した。死亡者250人。16日にもパイプラインが爆発し、死者数は100人に達した。
7	22	インドネシア スマトラ島	森林火災は7月に入り、北スマトラ、リアウの両州を中心に拡大し、北スマトラ州メダンでは煙霧による視界不良のため空港が一時閉鎖、リアウ州では小学校が休校となった。煙霧は近隣のシンガポールやマレーシアだけでなく、タイ南部でも観測された。	

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
火災・爆発	7	22	米国 中西部から南部の州	11 の州で猛威を振るっている山火事は、過去 50 年で最悪を記録する勢いで延焼し、干ばつと高い気温もあって収まる気配がなく、8 月 5 日には米軍 1,500 人の動員が決まった。これまでの延焼総面積は、229 万 ha で、当局もお手上げの状態。
	8	4	中国 江西省	爆竹製造業者が自宅アパートに運び込んだ約 2 トンの火薬が大爆発し、アパート内の多数の店舗や住居が大破。200m 以内のビル、民家のガラス窓にも被害。死者 21 名、負傷者 26 名。
	8	27	ロシア モスクワ	オスタンキノ・テレビ塔上部高さ 450m 付近で火災発生し、火は上下に燃え広がり、エレベーター落下。ロシアの主要テレビ放送が軒並み中断。死者 4 名。
	9	8	中国新疆ウイグル自治区	廃棄される予定の爆発物を輸送中の車が突然大爆発し、近くを通行中の車両 20 台余りや周辺の家屋が損傷。死者 100 名、負傷者約 300 名。
	9	27	中国 貴州省	炭鉱でガス爆発事故があり、坑内で 241 人が作業中で、死亡・行方不明 158 名、負傷者 83 名。
	11	25	バングラデシュ ナルシンディ	4 階建て洋服工場火災。女性労働者ら 47 名が死亡、約 100 名負傷。電気配線から出火したとみられている。
	11	30	ナイジェリア ラゴス近郊	漁村で、村人がガソリンを盗むため 2 か月前にパイプラインに穴を開けガソリンの漏れが広がっていたところに、コンロの火が引火、爆発・炎上した。死者 60 名。
	12	25	中国 河南省	旧市街地にある雑居ビルの地下 2 階から出火。2、3 階にいた改修工事中の作業員らと 4 階ダンスホールの客らが犠牲。死者 309 名、負傷者数十人。
傷害	4	29	グアテマラ トロス・サントス・クチュマタン市	日本人観光客の一行を含む 23 人の旅行者が、街の中心にある市場を訪れ、写真を撮っていたところ、地元住民らに襲われた。現地住民の間で、事前に「外国人が子供をさらう」とうわさが流れ、パニックが起きていた。死者 2 名、負傷者 4 名。
自動車事故	1	2	ドイツ シュバインフルト郊外	アウトバーン（高速道路）で濃霧の中、約 140 台の車を巻き込む玉突き事故。8 時間通行止め。死者 2 名、負傷者 75 名。
	1	12	ブラジル サンタカタリナ州	高速道路で観光客の乗った長距離バスが、トラック 1 台、乗用車 2 台と衝突し乗客ら死傷。死者 42 名、負傷者 44 名。
	2	19	ペルー フニン州	アンデス山間部で地元住民ら 57 人が乗ったバスが古い木製の橋から増水した川に転落。死者 31 名、負傷者 15 名。
	3	29	ケニア カプカトゥンガ	路線バス同士が正面衝突、片方のバスが炎上した。死者 101 名、負傷者 60 名。
	5	13	ボスニア カカニ	モスLEM人巡礼者が乗ったバスが橋から川に転落。死者 43 名、負傷者 11 名。
	7	7	中国 広西チワン族自治区	満員の市営バスが橋から約 30m 下の増水した柳江に転落し、死者 78 名。
	7	14	韓国 慶尚北道	高速道路で中央分離帯にぶつかり道をふさいだトラックに後続の観光バスや乗用車など 7 台が衝突し、高校の修学旅行バスなど 4 台が炎上した。死者 18 名、負傷者 97 名。
	11	4	ナイジェリア イレイフェ	幹線道路で、タンクローリーが、停車中の自動車の列に衝突・炎上し、バスなど 11 台の車が事故に巻き込まれる。死者約 200 名。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
鉄道事故	1	4	ノルウェー エルベラム 近郊	特急列車と普通列車が正面衝突し、車両が横倒しになり炎上した。死者・ 行方不明 33 名、負傷者 30 名。
	2	6	ドイツ ケルン近郊	ブリュール駅構内のポイントで約 300 人を乗せた特急夜行列車が脱線・転 覆した。スピードの出しすぎが原因。死者 9 名、負傷者 100 名。
	6	20	米国 ニューヨーク市	地下鉄 B 線デカルブ街駅構内で 8 両編成の列車が出発しホームを離れた直 後、3 両目の車輪が浮き上がり側壁に接触し、3 両脱線。負傷者 89 名。
	11	11	オーストリア	アルプスのキッツシュタインホルン山で、山岳ケーブルカーのトンネル内 で火災発生。ケーブルが過熱・切断し、自動停止装置作動。死者 155 名（火 災を起こした上り線の乗員・乗客 150 名、下りの乗員・乗客 2 名、中腹の 終点駅の職員ら 3 名）。
	12	2	インド パンジャブ 州	サライバンジャラ駅付近で、脱線して隣の線路をふさいだ貨物列車に、急 行列車が突っ込み客車や機関車計 7 両脱線。死者 46 名、負傷者約 140 名。
船舶事故	4	12	フィリピン ホロ島沖	小型フェリー（71 トン）が転覆、沈没。過積載が原因と見られる。死者・ 行方不明者 156 名。
	5	1	バングラデ シュ東部	メグナ川で荒天のため 2 隻のフェリーが相次いで転覆。約 86 人の遺体が 発見され、他に 100 人前後が行方不明。
	5	7	インドネシ ア マルク 諸島	セラム島行きフェリーが荒波のためアンボン島沖にて沈没。死者 37 名。
	6	22	中国 四川省	長江（揚子江）で乗員乗客約 200 人（定員の 2 倍）が乗った船が転覆し、 51 名が救出されたが、死者 13 名、残りの乗客ら約 140 名行方不明。
	8	13	ロシア バレンツ海	ロシア原子力潜水艦「クルスク」（オスカー II 型 1 万 8 千トン）が演習中 に故障し航行不能になり、バレンツ海に沈んだまま浮上できなくなった。 乗組員 118 人死亡。
	9	26	ギリシャ パロス島沖	約 500 人の乗ったフェリーがエーゲ海で座礁・沈没し、443 名は救助され 島の病院やホテルに収容。死者行方不明 91 名。
	10	31	フランス ノルマンデ ー沖	大西洋で有毒化学物質（約 6,000 t）積載のイタリアのケミカルタンカー が英仏海峡に沈没。乗組員 14 名救出。
	12	29	バングラデ シュ	ダッカ南東のメグナ川で、約 400 人乗りフェリーが船と衝突し、沈没した。 当時濃霧。死者 58 名。
航空機事故	1	30	コートジボ ワール	同国の最大都市アビジャンの国際空港を飛び立ったエアバス A310 型機 （乗員・乗客 179 人）が離陸数分後、大西洋に墜落した。死者 169 名。
	1	31	米国 ロサンゼルス沖	メキシコからサンフランシスコに向かっていた MD80 型機（乗客・乗員 85 人）が太平洋上に墜落。死者 85 名。
	3	30	スリランカ	国軍の AN26 型輸送機が、アヌラダプラ近郊に墜落。死者 40 名。
	4	19	フィリピン ダバオ沖	マニラ発ダバオ行の B737 型機がサマル島周辺に墜落した。乗客・乗員 131 名全員死亡。
	6	22	中国 湖北省	激しい雨の中飛行中の恩施発武漢行き旅客機（42 人乗り）が落雷を受け 空中爆発し墜落。乗客乗務員 42 名全員死亡、地上の 4 名行方不明。
	7	17	インド パトナ	カルカッタ発ニューデリー行き 58 人乗り民間航空会社の国内線 B737 型 機が中継地パトナ空港近くの団地に墜落し炎上した。搭乗者 51 人と住民 4 人の 55 人が死亡した。

事故種別	発生日		場 所	概 要
	月	日		
航空機事故	7	25	フランス パリ郊外	シャルル・ドゴール国際空港そばでパリ発ニューヨーク行きの超音速旅客機コンコルドが離陸直後、墜落炎上。地上の4人が巻き添え死。8月16日英仏航空局は、タイヤ破裂という比較的起きやすい事故が大惨事につながったことを重視し、コンコルド運航許可を停止した。死亡者113名、負傷者5名。
	8	23	バーレーン	カイロ発バーレーン行きの旅客機エアバスA320がバーレーン国際空港北部沖合約6キロのペルシャ湾に墜落し爆発炎上した。乗客乗員143人全員死亡。
	10	25	グルジア西部	モスクワからバトゥーミに向っていた、ロシア軍の軍人や家族らが乗ったロシア空軍機イリュージン18型輸送機が山腹に激突し炎上。乗員82名全員死亡。
	10	31	台湾	台風による悪天候の台北国際空港で、179人乗りロス行きB747-400機が離陸に失敗し爆発炎上した。死者82名、負傷者97名。
	10	31	アンゴラ サウリモ付近	ロシア製旅客機アントノフ26型機が、空中で爆発し墜落。乗員・乗客48名全員死亡。
中毒	7	21	ロシア 南部各州	キノコ採りシーズンが始まり、毒キノコの食中毒で95人が死亡し、負傷者200名。最も被害が深刻なボロネジ州当局は住民にキノコ採りと販売を禁止した。
	11	16	ケニア ナイロビ郊外	密造酒「チャンガー」を飲んだ男女が、相次いで倒れる。死者110名以上、400名以上が病院に運ばれた。有毒なメタノールが混入。
その他	1	24	米国	胸やけ防止剤の服用で心臓血管系の重度の副作用。死者70名、負傷者200名。
	4	10	米国	自動車メーカーは、1999年型と2000年型のミニバンの電気系統が停止するなどの恐れがあるとして、米国・カナダ市場で9万台のリコール措置を取った。
	8	4	米国	タイヤメーカーがスポーツ多目的車(SUV)とアウトドア小型トラック用のタイヤ650万本リコール。タイヤの欠陥で計103人が事故死した疑い。
	8	27	台湾	高雄県と屏東県を結ぶ主要道路にかかる高屏大橋が突然折れ、走行中の乗用車16台とオートバイ2台もろとも下を流れる高屏溪に落ち22人負傷。
	9	2	全世界	フランスの自動車メーカーが、フランス国内人気車の助手席エアバッグに「衝突などの衝撃なしに突然膨らむ」欠陥があるとして、主に欧州で販売された4万台をリコールすると発表。
	10	16	ブラジル	小型乗用車のシートベルトの不具合により、事故25件(死者2名)。自動車メーカーが130万台リコール。世界のリコール対象車約500万台に上る可能性。
	10	22	ウガンダ	北部の地区で、死亡率の極めて高いエボラ出血熱が発生し、165人が感染、60人が死亡(WHO発表)。感染がいつピークを迎えるかは予断を許さない状況。
	11	20	オーストラリア	アジア・オセアニアと欧州を結ぶ海底ケーブルが、船舶によって損傷し、インターネットがつながりにくくなるトラブル。電子商取引やネットバンキングが利用できず苦情。修復に1週間程度かかる。被害は数百万豪ドルに及んだ。
	12	30	ブラジル リオデジャネイロ	サンジャヌアリオ競技場でサッカーの試合中、客席上段の観客が、下の方へ向かって将棋倒しとなって、グラウンドを囲むフェンスが倒壊。負傷者160名。

(研究部)